令和7年度 公演スケジュール

Art for Kids@なとり わくわくパビリオン

全館

5月3日 (土・祝) ~4日 (日・祝) 10:00~15:00

Art for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会

中ホール

7月6日(日) 14:00開演

Meet up with"仙台フィルメンバーズ" ロビーコンサート

中ホールホワイエ

7月14日(月) 開演時間調整中

Meet up with "仙台フィルメンバーズ" ~高橋 鐘汰プロデュースピアノ五重奏~

8月30日(土) 14:00開演

世良公則 KNOCK KNOCK 2025 with 宇崎竜童

鼓童ワン・アース・ツアー2025

10月11日(土) 14:00開演

Meet up with "仙台フィルメンバーズ"

11月23日(日・祝) 14:00開演

~川又明日香プロデュース弦楽四重奏~

9月6日(土) 17:00開演

宮城公演

大ホール

12月12日(金) 18:30開演

なとりアートギャラリー 東北イラストレーターズクラブ展

High-End Jazz Quintet LIVE

展示ギャラリー

小ホール

令和8年1月13日(火)~1月27日(火)

伝統芸能で魅せる続・名取寄席

中ホール

令和8年3月22日(日) 14:00開演

文化会館を飛び出して 出張公演も計画中!!

11月30日(日) 14:00開演 ※情報は発行日時点のものです。都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。詳しくは、公演チラシや会館の公式サイトをご覧ください。

村治佳織&村治奏一

ギターデュオ・コンサート

大ホールピアノのオーバーホール完了!!

「オーバーホール」ってなんだろう?

皆さんは「オーバーホール」という言葉を知っていますか?意味としては「機械製品を部品単位まで清 掃・再組立てを行い、新品時の性能・状態に戻す作業」のことをいい、機械だけでなく身近なものだと 車や腕時計でも行われており、またそのほかに、スポーツ選手がシーズンオフの休養期間に人間ドッ クを受診するなどして健康管理を行うことを指す言葉としても使われています。

様々な場面で行われているオーバーホールですが、実は楽器にとっても大切な作業です。昨年12月 には、大ホールのピアノのオーバーホールが行われました。

ピアノでいうオーバーホールとは、直接音に関わる弦やハンマー、フェルトなどの部品を新しいものに交 換して再度組み立てることをいい、これによって本来の性能や音色を取り戻すことができます。

ピアノの寿命は通常で約30年と言われていますが、適切なメンテナンスを行えば100年、中には150 年以上も優れたパフォーマンスを発揮している楽器もあるそうです。寿命が約1,000年と言われてい

るヴァイオリンには負けてしまいますが、それでも私たち人間よりも長生きなのですね。

まもなく開館から30年を迎える文化会館。開館からずっと施設と共に皆様をお迎えしてきたピアノにこれからも頑張ってもらい、お客様に心豊かな ひと時を過ごしていただくために大切な「オーバーホール」、ぜひこの機会に知っていただけると嬉しいです。

施設予約システムが新しくなりました



令和6年2月より会館の予約システムが新しくなりました。

会館ホームページで施設の空き状況をご覧になったことはありますでしょうか。空き状況は13ヵ月先まで確認することができます。予約が可能で あれば「〇」、すでに予約が入っている場合は「×」になっています。毎月1日にホールであれば1年前、その他の施設であれば3ヵ月前の予約が可能 になるのですが、ホールに付随していれば会議室等の施設も1年前からご予約いただくことができます。

また、新しいシステムではメールアドレスを登録することによりWebからの仮予約も可能となり、仮予約状況や、本申請の期日がメールで通知され るようになりました。

旧システム利用時に仮予約の利用者IDを取得された方は、今後の仮予約の際メールアドレスの登録が必須となりますので、 一度会館までお問い合わせください。

なお、新たに仮予約をWebから行いたい方は、会館窓口にて事前登録が必要となります。 詳細につきましては会館窓口にお問い合わせください。皆様のご利用をお待ちしております。 ※仮予約が可能な期間は使用日の3ヵ月前の月の6日から使用日の9日前までとなります。



交通アクセス

- ・仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩8分
- ・JR 「名取駅」より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR「名取駅」が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、 できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。



公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520

TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684 (第1・3火曜日を除く9:00~18:00)

ホームページ: https://bunka.natori.or.jp/



名取市文化会館HP







- ●2024年度 全国共同制作オペラ 『ラ・ボエーム』 開催レポート
- ●「なとりアートキャラバン~芸術で地域巡り~」 3年の振り返り ●Meet up with "仙台フィルメンバーズ"シリーズ
- 令和7年度主催公演スケジュール
- 大ホールピアノのオーバーホール完了!!
- ●施設予約システムが新しくなりました















■2024年度 全国共同制作オペラ

「ラ・ボエーム

指揮:井上道義

演出・振付・美術・衣裳:森山開次

開催レポート

2015年のモーツァルト歌劇『フィガロの結婚~庭師は見た!~新演出』 以来、9年ぶりのオペラ公演。日本クラシック界を代表する指揮者であり 2024年末で引退した井上道義が、自身最後のオペラとして選んだのは 最愛のオペラと語るプッチーニの名作歌劇『ラ・ボエーム』。タッグを 組んだのは、これまでもコンビを組んだ実績があり深い信頼を寄せる 舞踊家・演出家の森山開次。

『ラ・ボエーム』は19世紀前半のパリを舞台に描かれた、若い芸術家 たちの青春群像劇。王様や伯爵、プリンセスや貴族のような人物は 登場せず、貧しくも情熱溢れる若者たちが繰り広げる物語は、観客 がどこかを自分と重ねて共感しやすい作品であった。

演出の森山氏は、従来の演出に新たな日本人の視点を加えた。 主要な登場人物の一人、マルチェッロに、1913年フランスに渡った画家

藤田嗣治を重ねたことで、作品 がさらに身近に感じられた。

名取市文化会館も含めた全国 7都市の劇場と各地のオーケス トラが共同制作し、8公演全て 完売。









名取公演ではオーケストラに仙台フィルハーモニー管弦楽団を迎え、 井上マエストロとの最後の共演となった。マエストロや観客の期待に 応える、素晴らしい演奏だった。

クリスマス・イヴでにぎわうパリの群衆や子どもたちを演じた地元 合唱団は仙台オペラ協会を中心に、今回のオペラのために集まった 市民。児童合唱もNHK仙台少年少女合唱隊を中心に地元の子ども たちが熱演してくれた。

来場のお客様からも、「初めてのオペラ鑑賞でした、ハマりそうです」 「名取でこんなに素晴らしい公演が観られるなんて」「すべてが芸術的 で素晴らしかった」と、喜びの声が寄せられている。

今回のような、素晴らしい作品が、地元や市民を巻き込んだ形で開催 でき、より多くの人々の心に届けられたことはとても嬉しく思っている。 また次へつなげていけるよう、取り組んでいきたい。

地元合唱団の活躍

第2幕「カフェ・モミュス」のシーンで舞台を彩る群衆や、おもちゃ 売りに群がる子どもたちを演じた地元合唱団総勢44名。長丁場の 合唱稽古や立ち稽古に加え、自主練習に励む姿も見られました。 9月の本番まで限られた時間の中で、歌唱力や表現力を磨き上げ、 ステージでその成果を生き生きと発揮していました。

大きな舞台を終えて、今感じることを聞きました。

【仙台オペラ協会ボエーム合唱団】

- ・「全国共同制作オペラ」という大きなプロダクションという こともあり、果たして自分にできるのだろうかと不安でいっ ぱいでした。スタッフの皆さんのサポートのお陰で、不安も 安心に代わり無事舞台に立つことができました。私にとって またひとつ貴重な経験をすることができました。
- ・世界を舞台に活躍している方々と同じ舞台に立つことが とても刺激的でした。練習後はいつもなんとも言えない 高揚感があり、終わってしまうことに寂しさを感じており ます。
- ・オペラに初めて参加したのですが、手厚い練習を受けること で楽しみながら本番まで頑張ることができました。この貴重 な経験を生かして、是非別のオペラにも挑戦してみたいです。





森川氏による演技指導

【NHK仙台少年少女合唱隊・宮城ボエーム児童合唱団】

- ・私はちっちゃいころから、オペラに出てみたいとずっと思って いたので出られて本当にうれしかったです。
- 初めてみなさんで合わせた時、いろんな感情があふれたの を覚えています。とても楽しいけれどプレッシャーもあり とてもきんちょうしました。
- ・たくさん役があるなかで1人1人が役をえんじ、せかいかん をつくることがむずかしくかんじました。でもラ・ボエーム の練習をいつも楽しみにしていました。
- ・カーテンコールのときのなりやまないはくしゅなど人生で なかなかできない経験をしたと感じました。
- ・本番では練習のときよりも迫力があって自分も楽しみながら できました。お客さんも楽しそうにしていてうれしかったです。





音楽で広がる昔ばなしの世界 朗読公演「ファミリーツリー」上映会



寄席文化への招待

2023年2月15日(水)



2023年2月23日(木・祝)

立春!春風亭与いち落語会



2024年2月4日(日)



2024年2月17日(十)

エスポワール・フォレが歌う **懐かしのメロディー**



2024年2月25日(日)

などりアートキャラバン ~芸術で地域巡り~

令和4年度から始まった「なとりアートキャラバン~芸術で地域巡り~」ですが、会館の修繕期間を中心に、3年かけて市内11地 区の公民館、大学の礼拝堂、神社など様々なところヘイベントを携えてエッサホイサと出向き、「文化芸術」をお届けしてまいりま した。多くの皆様からたくさんの好評のお声をいただき、3年目の会場はどこも整理券は早々に配布終了、会場に溢れんばかり のお客様に迎えていただきました。文化芸術を身近に感じていただき、文化会館をより知っていただくきっかけになれば幸い です。今度はぜひ文化会館のホールへ生の公演を観にいらしてください。 令和7年度も、まだ行ったことのない場所でのイベントを計画中です。

「文化芸術をもっと身近に、アートを暮らしのすぐそばに――。」

- ◆日曜の昼に心地良い音楽が聴けて良かった。
 ◆アートキャラバン良い試みで楽しむことが出来ました。
- ◆公民館という身近な施設で音楽にふれるすばらしい機会でした。
 ◆カルタづくりは、親も子も楽しみながら取り組めました。
- ◆大学が地域にひらける意味でも市民が文化に触れる意味でもいいと思う。
- ◆ファミリーツリーを久々に観ましたが何度観ても心に残る作品です。閖上の昔の写真もたくさん見られて楽しかったです。
- ◆なかなか遠くへ出かけられないのでまたこのようなコンサートをやって欲しいです。
- ◆やさしい音、やさしいメロディー、神社というシチュエーション、おだやかな気持ちになりました。

木下順子&吉田蘭子デュオコンサート





今野家ちょすな落語会





Meet up with "仙台フィルメンバーズ"

「気軽に会いに行けるクラシック」をテーマに、仙台フィルハーモニー管弦楽団のアンサンブルシリーズを新たにスタートします。 各回に中心メンバーを置き、その音楽ルーツに迫るコーナーなどトークも交えてお楽しみいただく年2回のシリーズです。 記念すべき第1回目は、"楽器を吹くと首が膨らむ"ことで有名なオーボエ奏者、高橋鐘汰さんを中心メンバーにお迎えし、 ピアノ五重奏をお届けします。木管楽器の音色の温かみや多彩さ、それぞれの楽器の華やかさを感じることができる 魅力的な演奏にご期待ください。

11月開催の2回目の公演では、第2ヴァイオリン首席奏者の川又明日香さんを中心メンバーに迎え、弦楽四重奏をお届け します。令和6年11月に仙台フィルに入団したばかりのニューフェイスにご注目ください。

また、公演に先駆けて中ホールホワイエにてロビーコンサートも開催します。文化会館に来たことがある方もない方も 気軽に足を運んでいただき、音楽にふれてみませんか。



7月14日(月) **ロビーコンサート** @中ホールホワイエ

8月30日(土) 高橋 鐘汰プロデュースピアノ五重奏 @中ホール 11月23日(日·祝) **川又 明日香プロデュース弦楽四重奏** @中ホール







Meet up with "仙台フィルメンバーズ" 開催スケジュール